

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		りんくききょう					公表日	令和 7年 3月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	100%		・利用児童数が多数の時は小集団での活動を、少数の時は集団や個別活動を行っております。	・利用者が増加した場合の対応		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%		・指定基準は満たしておりますが、現在ハローワークへ求人募集を行っており、紹介があり次第、増員を予定中		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%	・一日のスケジュールの掲示のほか、個人の特性により、個別掲示も行っております。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	50%	50%	・子ども達と職員と一緒に清掃活動を行っております。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・使用可能ですが、使用する人数によっては、カーテンや仕切りによって環境を整えています。	・一人が落ち着いて過ごせる空間が必要な場合の対応が課題。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	・職員会議の場で検討しております。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	25%	75%		・第三者による外部評価が受けられる体制作りを7年度の目標と考えております。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・外部研修での費用は法人が負担しています。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・令和7年1月から、ホームページ上に掲載しました。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・児童発達支援管理責任者が作成する計画（案）について、支援会議を開催し、全職員で検討しています。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・カンファレンス会議（月1回）の中で、課題や強み等について話し合い計画に反映させています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・支援計画完成後に、児童発達支援管理責任者より全職員に周知をおこないます。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・発達検査や知能検査等の結果記録とりんく自体で作成したアセスメントシート等により確認しています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・令和6年7月発出の放デイガイドラインについて周知会議を開催し主旨を理解した上で、支援内容の立案を行っております。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・カンファレンス会議の場で検討立案を行います。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・カンファレンス会議の場で検討立案の他、児童の思いややりたいことを聴取し出来る限り取り入れるよう配慮する			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			・朝礼の場で確認作業を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%			・振り返りは、送迎の関係上翌日になります。緊急性が高い事由の場合は職員間でのラインを活用しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	75%	25%			・季節ごとにできる遊びや町内会行事への参加、企業訪問及び交通機関の利用法等を取り入れております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%				・子ども達の意見や今やりたいことを聴取し、一方的な支援にならないように工夫しております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%			・2市1町放課後等デイサービス連絡会において、教育（学校）との連携について協力体制の構築に努めている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%			・当事業所は主に中学・高校の児童が利用しており小学時の利用事業所からの情報を共有しております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50%	50%			・相談支援事業所からの依頼により、サービス担当者会議に参加しております。 ・当事業所を卒業後の就労先との連携について整備すること。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	25%	75%			・外部研修の機会には参加しております。 ・児童発達支援センターとの連携や助言を受けることのできる体制作りの構築
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。			100%		・年齢的に児童館等を利用できませんが、体育館や公共施設等での活動を取り入れております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	75%	25%			・外部研修の機会には参加しております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			100%		・家庭での困り感の聞き取りや、職員が活動中の気づきを家族へ報告・相談しながら対応を共有しています。 ・家族参加型の研修会等について、検討いたします。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%				

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	・保護者参加型のイベントや行事の企画により保護者同士の交流の機会を提供しています。	・当事業所の利用保護者は就労で参加できない方や、事情により交流を望まない方が多いため、企画が難しい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		・活動風景や連絡等について、ラインにより画像や文章により発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・全職員は個人情報の取扱いについての研修を受けた後、誓約書を取り交わしております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・スケジュールの構造化やマカトンサイン、五十音表等により、コミュニケーションには配慮しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%		・7年度の課題として、町内会活動やボランティア活動への積極的に参加し、地域住民への理解をおこなう。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		100%		・各マニュアルは策定しております。今後はホームページへ掲載し周知をおこないます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	75%	25%	・安全計画に沿って、研修、訓練等を実行しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		・保護者から聞き取りをおこない、アセスメントシートに記載し、職員への周知を行っております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	・保護者から聞き取りをおこない、アセスメントシートに記載し、職員への周知を行っております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	25%	75%		・ホームページへ掲載し周知おこないます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・ヒヤリハット報告について、内容の確認、対応、再発防止について、全職員が参加し検討を行っております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会による内部研修のほか、行政が行う外部研修への積極的に参加しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	75%	25%	・当事業所での事例はありませんが、身体拘束適正化委員会による研修や実際の身体拘束事例の検証を行ってま		